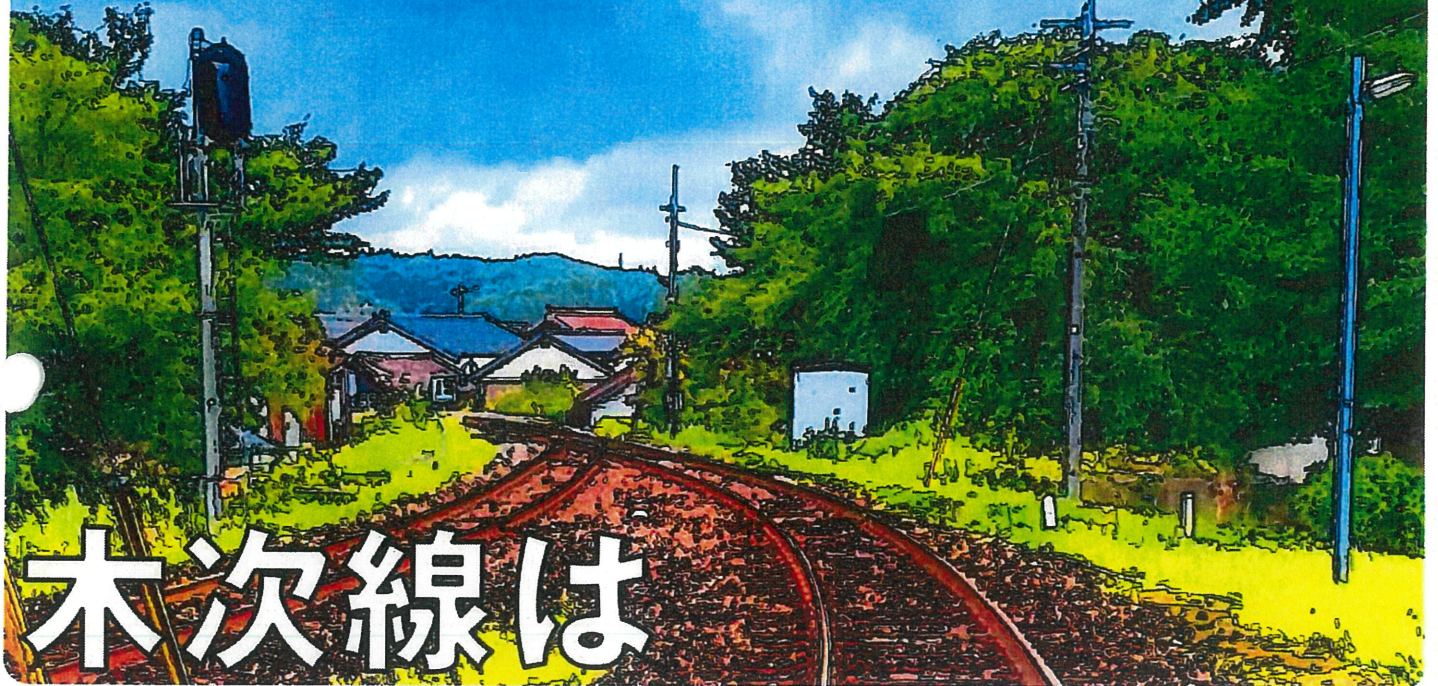


木次線シンポジウム

利用者が減少し存続が危ぶまれる木次線。
どうしたら乗客を増やし生き残れるのか、
公開討論会を行います。



木次線は

だれのもの？

令和5年

10.29 日

- 時間=13:30-15:30
- 会場=雲南市加茂文化ホールラメール
ふれあいホール
- 参加料=500円(定員200名)
- できるだけ木次線でお越しください
(加茂中駅から徒歩15分)

シンポジウムテーマ

「木次線はだれのもの」

◎登壇予定者

飯野 公央

(島根大学教授)

江上 英樹

(元小学館編集長、スイッチバックのジオラマ作成者)

土屋 武之

(鉄道ライター、ルーツは雲南市木次町)

主催/雲南市議会木次線活用化促進議員連盟、奥出雲町議会木次線活性化促進議員連盟 協賛/雲南市蒸気機関車C56108保存会、幸せを運ぶ木次線の会
お問い合わせ先/雲南市議会事務局 0854-40-1004

